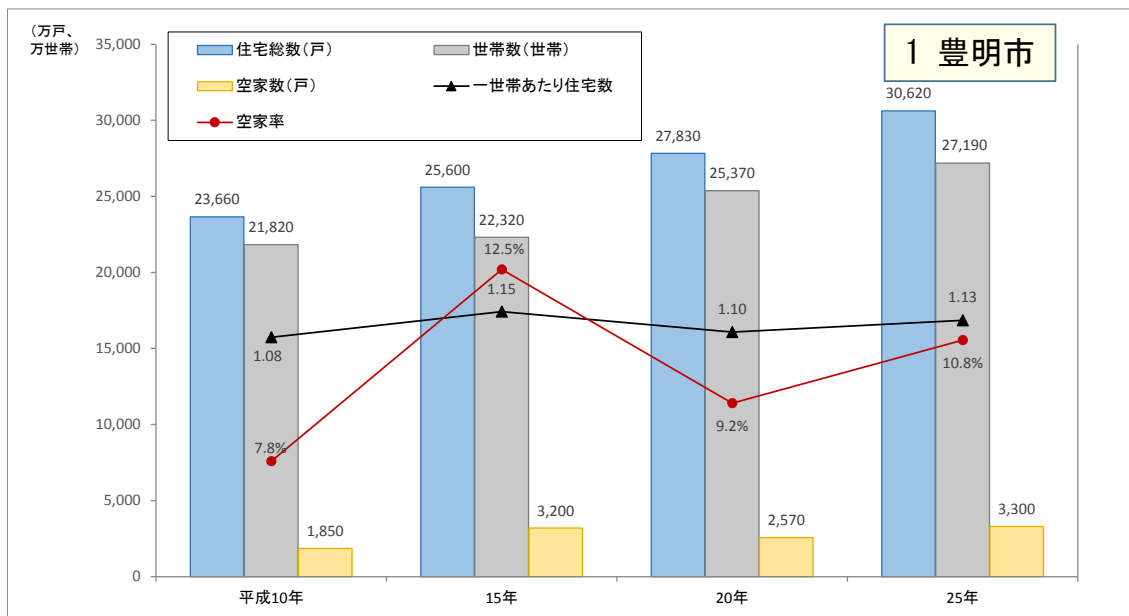
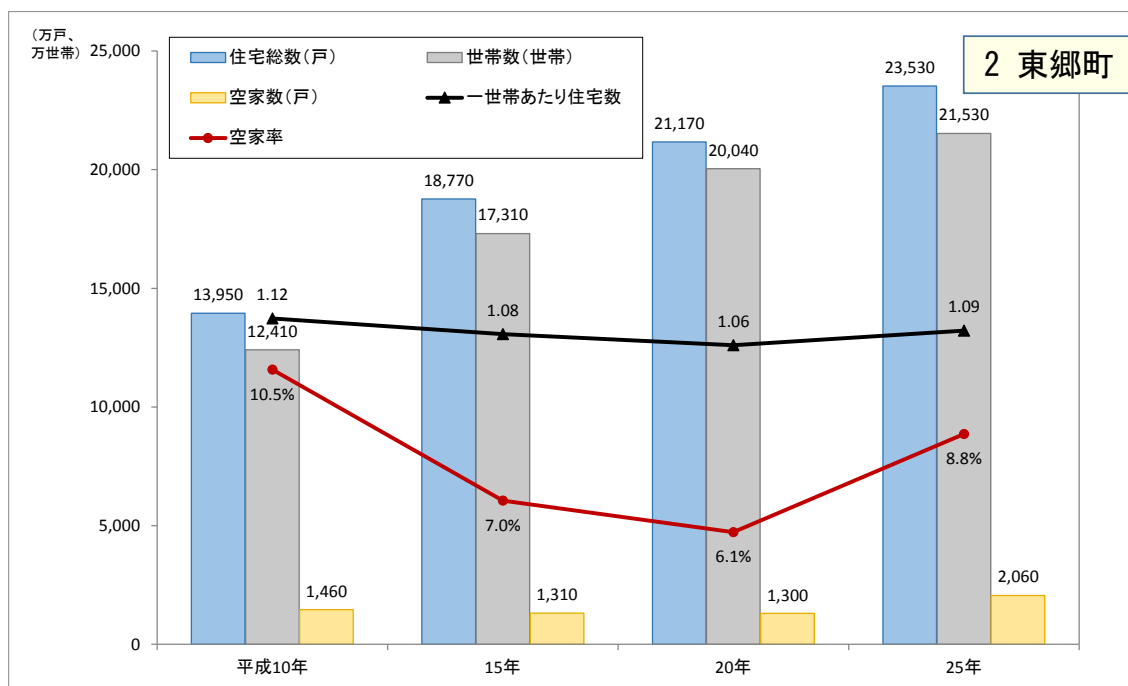


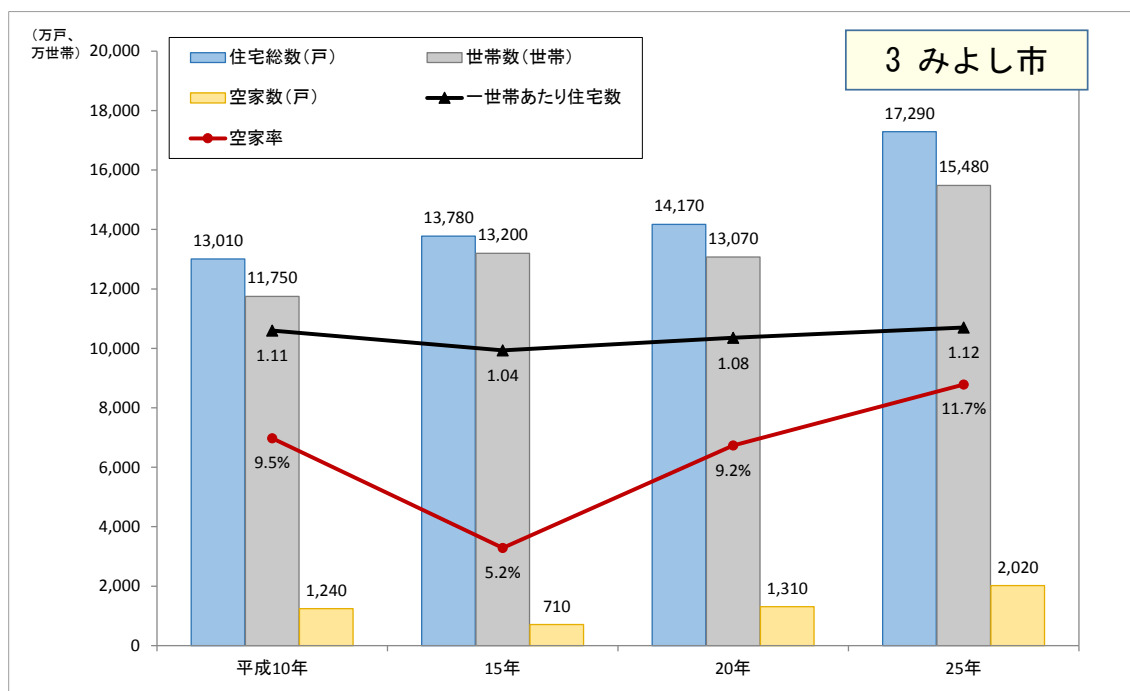
周辺市町区の空家率等の推移



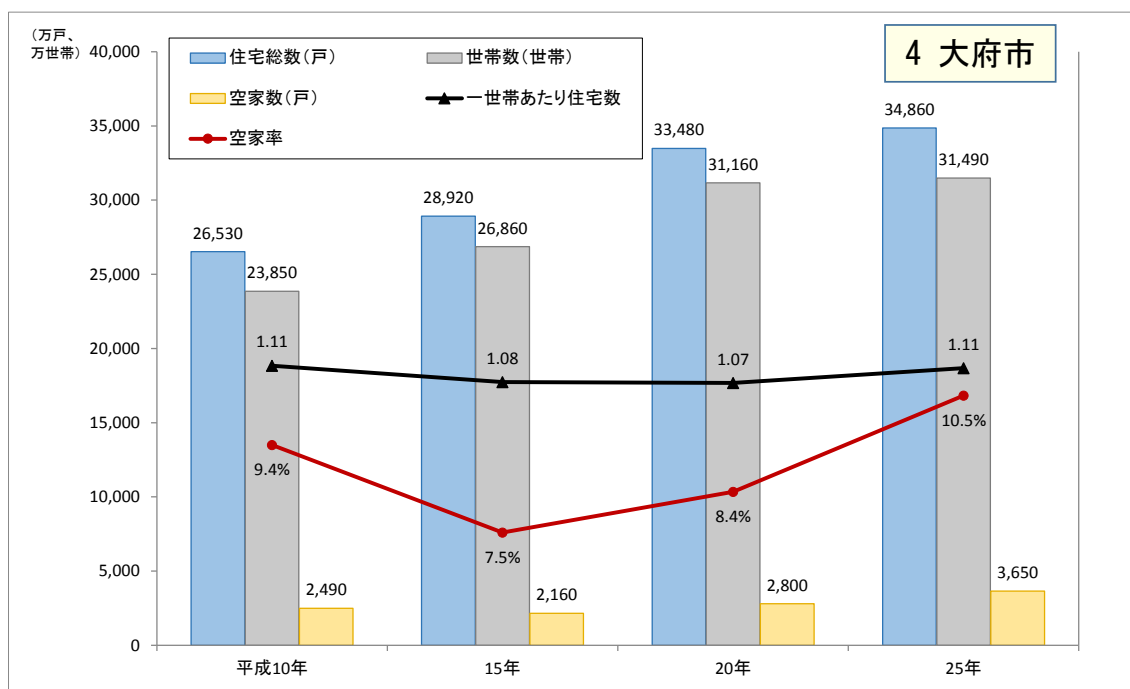
図表 1 豊明市の空家率等の推移



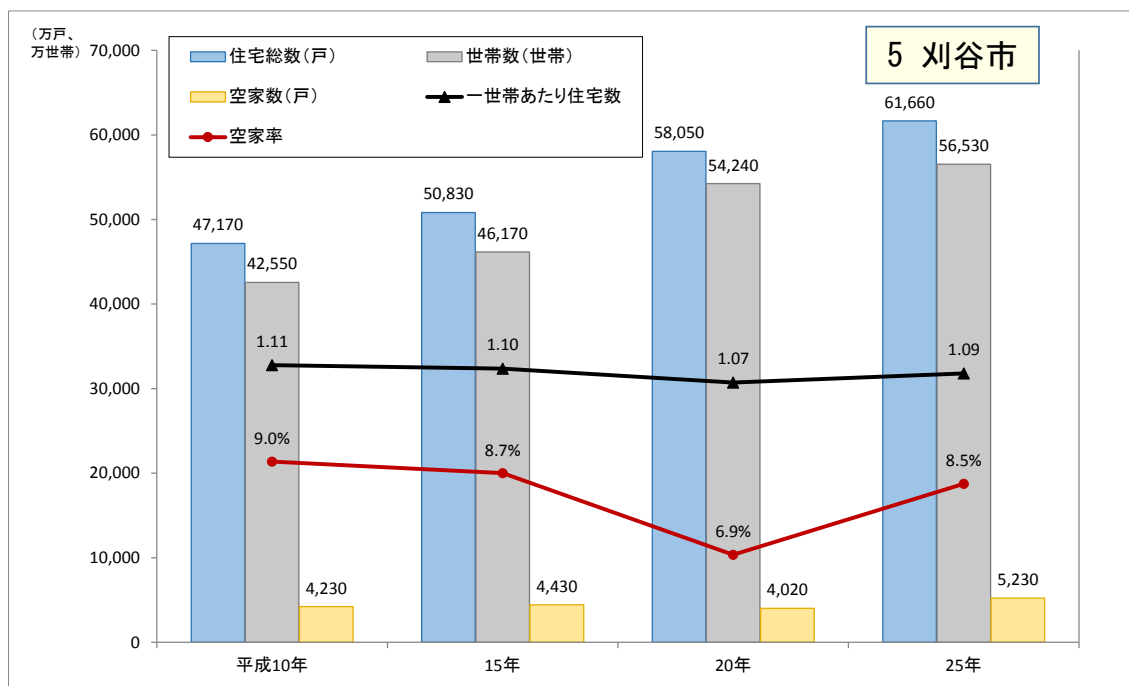
図表 2 東郷町の空家率等の推移



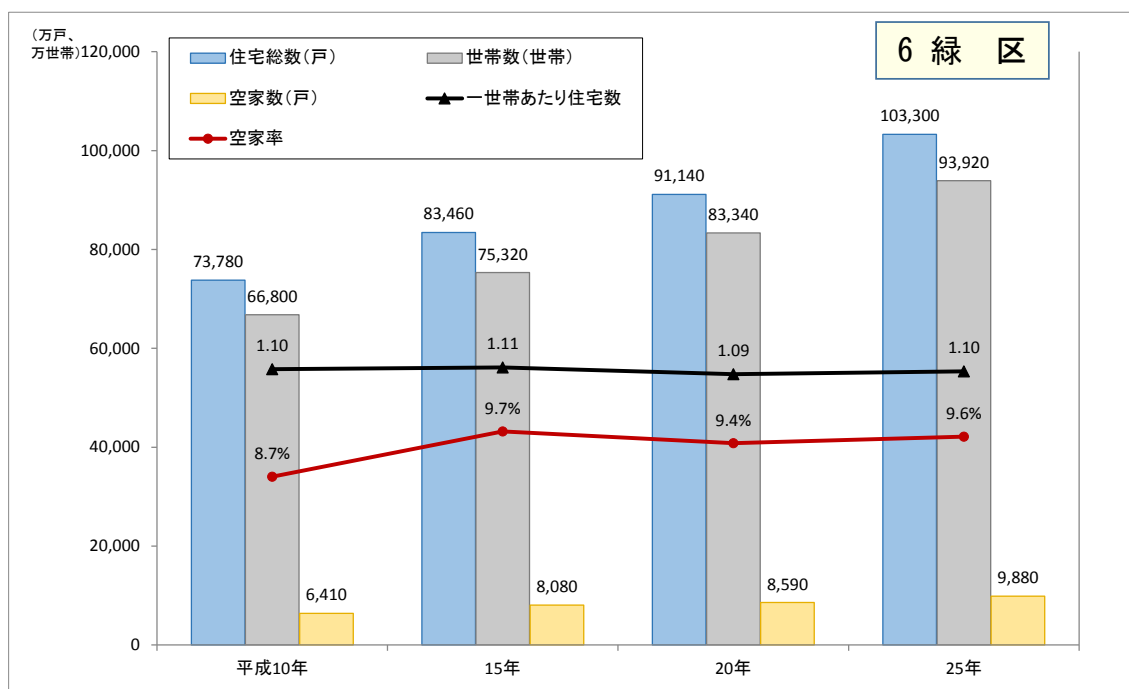
図表 3 みよし市の空家率等の推移



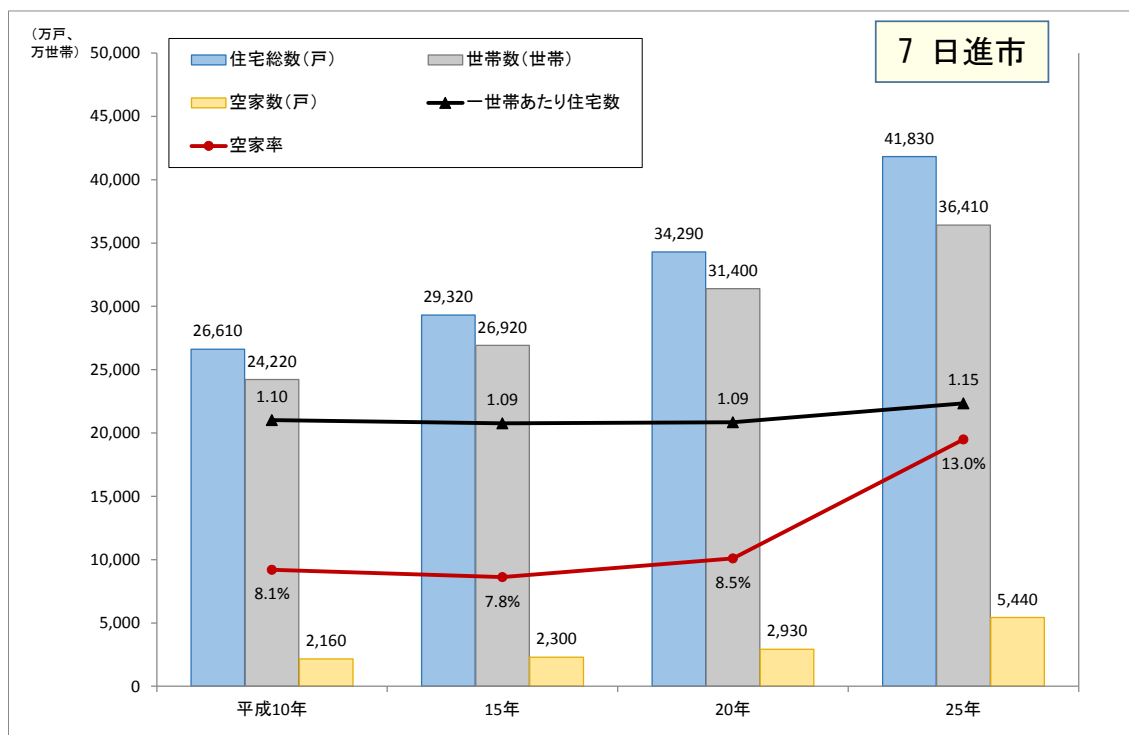
図表 4 大府市の空家率等の推移



図表 5 刈谷市の空家率等の推移



図表 6 緑区の空家率等の推移



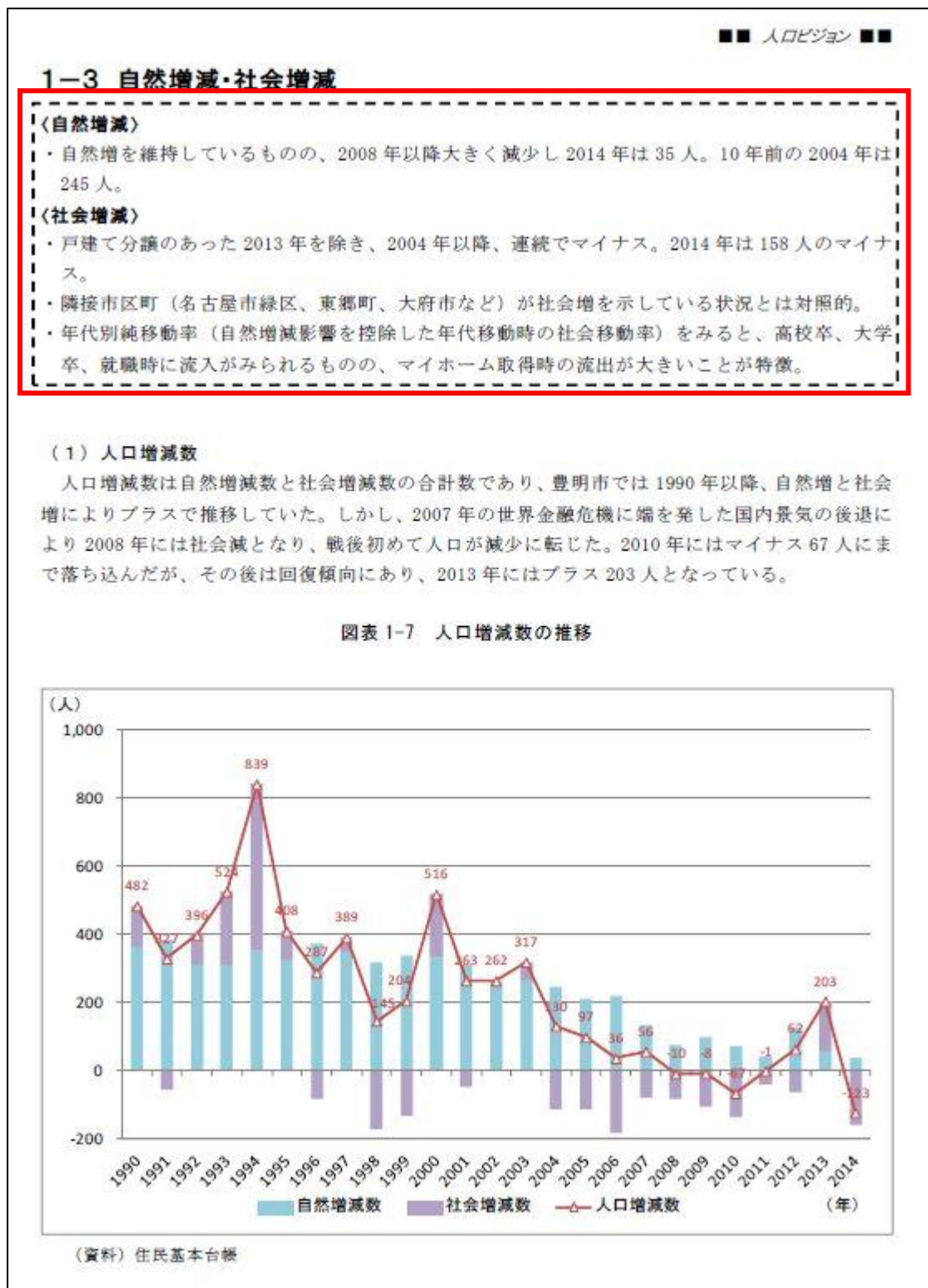
図表 7 日進市の空家率等の推移

id	市町村区名	H12国調人口	H17国調人口	H22国調人口	H27国調人口	人口の推移	H17-22人口増加率	H17-22人口増加率	H22-27人口増加率
1	豊明市	66,495	68,285	69,745	69,127		2.7%	2.1%	-0.9%
2	東郷町	36,878	39,384	41,851	42,858		6.8%	6.3%	2.4%
3	みよし市	47,684	56,252	60,098	61,810		18.0%	6.8%	2.8%
4	大府市	75,273	80,262	85,249	89,157		6.6%	6.2%	4.6%
5	刈谷市	132,054	142,134	145,781	149,765		7.6%	2.6%	2.7%
6	名古屋市長区	206,864	216,545	229,592	241,822		4.7%	6.0%	5.3%
7	日進市	70,188	78,591	84,237	87,977		12.0%	7.2%	4.4%

図表 8 隣接市町区の人口の推移

- 隣接市町区の中で、豊明市だけが平成10年から15にかけて空家率が上昇しています。
→この理由は？

豊明市の空家率の推移について



- 豊明市では、戸建分譲のあった平成 25 年を除き、平成 16 年以降、人口の社会減が続き、平成 22 年から 27 年にかけて人口が 0.9%減少しています。

豊明市人口ビジョン(p.7)によると、

- ・ 隣接市区町（名古屋市緑区、東郷町、大府市など）が社会増を示している状況とは対照的
- ・ 年代別準移動率をみると、高校卒、大学卒、就職時に流入がみられるものの、マイホーム取得時の流出が大きいことが特徴



資料 4 の図表 5「豊明市の空家率の推移」にみられるように、豊明市では、「賃貸用の住宅」の空家率が上昇しています。

これは、借家住まいだった子育て世代が、市外にマイホームを所得して転出しているため、「賃貸用の住宅」の空家が増え、全体として空家率が上昇しているのではないかと推測できます。